

平成 21 年度
事業計画書

平成 21 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

目 次

1. 公益事業	P. 1
2. 徳川美術館拡充整備基金（公益事業）	P. 1 4
3. 収益事業	P. 1 5

1. 公益事業

総務部

1. 事業事項

- [I] 調査・研究
- | (課題) | (担当) | (開始) |
|-------------------------------|---------------------|-------|
| (1) 尾張徳川家の婚姻について | 専務理事・総務部長 学芸員 近松真知子 | 昭和62年 |
| (2) 尾張徳川家系図の調査研究 | 同上 | 〃 63年 |
| (3) 近世初期漢画の研究 | 非常勤学芸員 林 里絵 | 平成12年 |
| (4) 江戸時代の国学興隆が絵画製作に及ぼした影響について | 同上 鎌田純子 | 〃 19年 |
| (5) 川面版 源氏物語絵巻の研究 | 林 里絵・鎌田純子 | 〃 19年 |
- [II] 編集
- (1) 「金鯨叢書」(第37輯) 近松真知子・林 里絵
- [III] 美術館業務応援
- (1) 広報活動支援 近松真知子
- [IV] 部外協力
- (1) TV出演・講演 申し込みを審査し、可能な限り協力する。
- [V] 写真資料の整理・貸出 庶務担当課長 神田映子・宮 裕美
- [VI] 所蔵図書 of 整理 鶴岡香織
- (1) 新着図書・寄贈図書の分類・整理・データ入力を行う。
 - (2) 新着雑誌・寄贈雑誌の整理・データ入力・製本を行う。
 - (3) 旧受入図書の未整理分を整理し、それに伴う書架移動を進める。
 - (4) 除籍対象図書を選定し、除籍を行う。
 - (5) 除籍対象雑誌を選定し、除籍を行う。
 - (6) 図書データベースのネットワーク化に向けて美術館・林政史研究所と連携して作業する。

2. 処務事項

- [I] 新公益法人制度に伴う移行準備推進
特例民法法人からの移行の準備・検討をする。 徳川義崇・各部協力
- [II] 諸規程の見直し・整備 近松真知子・各部協力
- [III] コンピューターシステム化の促進及び見直し 徳川義崇・各部協力
- [IV] 財団関係史料の整理 徳川義崇
- [V] 会計業務手順の見直し
新公益法人会計基準に対応するための課題を検討する。
会計・経理担当課長 田中博之・各部協力
- [VI] 収支決算監査 平成21年5月
- [VII] 理事会・評議員会開催
(1) 平成20年度収支決算審議のため理事会・評議員会開催 平成21年5月
(2) 平成21年度収支更正予算および平成22年度収支予算審議のため理事会・評議員会開催 // 22年3月
- [VIII] 徳川園協議会への参加
名古屋市蓬左文庫及び徳川園の運営について引き続き関係諸機関と協議する。
- [IX] 主務官庁届出・報告事項
(1) 平成21年度科学研究費補助金（特定奨励費）交付請求書提出 平成21年4月
(2) 平成20年度事業報告書ならびに決算報告書提出 // 6月

徳川美術館

1. 事業事項

[I] 調査・研究	(担当)	(開始)
(1) 館蔵品悉皆調査	学芸部共同	昭和63年
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	同上	〃 58年
(3) 尾張徳川家御道具帳のデータベース化	同上	平成 7年
(4) 尾張徳川家に関連する建中寺所蔵什宝の調査	同上	平成20年
(5) 徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 学芸員	山本泰一 昭和49年
(6) 請来仏画の研究	同上	〃 56年
(7) 阿弥派の研究	同上	平成 7年
(8) 『君台観左右帳記』の研究	専門参与 学芸担当	佐藤豊三 昭和58年
(9) 茶の湯の名物道具について(名物論) -『玩貨名物記』を中心に-	同上	〃 63年
(10) 尾張徳川家江戸屋敷における文化活動	同上	平成 3年
(11) 徳川義直の文化活動	同上	〃 11年
(12) 近世名古屋城下における文芸活動 -尾張藩士を中心に-	企画情報部部长	小池富雄 昭和57年
(13) 幸阿弥派の蒔絵の研究	同上	平成元年
(14) 唐物漆器の研究	同上	〃 10年
(15) 古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長	四辻秀紀 昭和60年
(16) 歌絵・物語絵の研究	同上	平成 3年
(17) 近世絵画の研究	学芸員	吉川美穂 〃 6年
(18) 尾張における画家の活動について -田中訥言を中心に-	同上	〃 11年
(19) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員	並木昌史 平成 8年
(20) 近世有職織物の調査研究	同上	〃 10年
(21) 中近世の絵画および工芸意匠の研究	学芸員	龍澤 彩 〃 13年
(22) 尾張徳川家伝来中国絵画の研究	学芸員	志賀太郎 〃 17年
(23) 禅宗絵画の研究	同上	〃 19年
(24) 徳川将軍家と尾張徳川家の研究	学芸員	原 史彦 〃 20年
(25) 国宝 初音の調度の総合的研究 (文部科学省科学研究費補助金)	小池富雄 (代表)	〃 19年

[II] 文化財保存

(1) 修理

「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)

[文化財保存事業] 重要文化財 扇地紙文辻ケ花染小袖・紅葉文辻ケ花染小袖(継続)

(2) 収蔵庫内棚作成

(3) 「国宝 源氏物語絵巻」詞書料紙の科学的調査に基づく復元模写事業の推進

〔Ⅲ〕 教育・普及

- (1) 定期研究発表会 (月 日) (内 容) (講 師)
- ① 第55回 6月 長篠・長久手合戦図屏風について(仮) 原 史彦
- ② 第56回 平成22年2月 「鼠の草子絵巻」について 龍澤 彩
- (2) 記念講演会 (月 日) (講 師)
- 4月11日(土) 書の見方ー日本の美と心を読むー 五島美術館 学芸部長 名児耶明氏
- 10月10日(土) 戦国のファッション 未定
- (3) 土曜講座 「大名の生活と文化」 (年 月 日) (内 容) (講 師)
- 4月18日 尾張徳川家に伝来した古筆 四辻秀紀
- 5月30日 星に願うー七夕と日・月ー 小池富雄
- 6月13日 宴の図像ー遊楽図屏風(相応寺屏風)を中心にー 志賀太郎
- 7月25日 戦国合戦の実態と様相 原 史彦
- 9月12日 絵本で楽しむ日本の古典 龍澤 彩
- 10月24日 戦国武将たちの服飾 並木昌史
- 11月28日 蓬萊の美術 山本泰一
- 平成22年
- 1月16日 江戸の好古趣味 吉川美穂
- 2月20日 桃山復興と利休 大日本茶道学会副会長 田中仙堂
- 3月13日 大名道具の伝来と保存 佐藤豊三
- (4) 夏期講座 「戦国のファッションと美学」 (月 日) (内 容) (講 師)
- 8月25日(火)・26日(水) 講 義 吉川美穂・
- 27日(木) 見学会 並木昌史ほか
- (5) 能楽講座「尾張徳川家の能」 テーマ:「船弁慶」
- 4月25日(土) 院政の芸能界ー白拍子 静ー 歌人 馬場あき子氏
- 5月 2日(土) 能舞台に船登場ー船頭一人で大奮闘ー 狂言方 井上靖浩氏
- 6月 6日(土) 美しい静御前から怨霊へーシテ瞑利ー 能楽シテ方 辰巳満次郎氏
- 7月 8日(土) 静の涙、押し寄せる大波ー全部聞かせますー 能楽笛方 藤田流 藤田六郎兵衛氏
- (6) 徳川林政史研究所 古文書入門講座「江戸時代の古文書を読むーペリー来航の時代」
- 6月20日(土) ペリー来航とその時間 林政史研究所 所長 竹内 誠
- 27日 〃 桜田門外の変と御庭番 〃 副所長 深井雅海
- 7月 4日 〃 黒船来航と雄藩大名(一) 〃 研究員 白根孝胤
- 11日 〃 〃 (二) 〃 〃 〃
- 18日 〃 安政の列島大激震(一) 〃 主任研究員 太田尚宏
- 25日 〃 〃 (二) 〃 〃 〃
- (7) 古美術相談会
原則として毎月第一土曜日午後に行う。

(8) 名曲講座「名曲へのいざない」 4回程度開催予定

(9) 特別企画

(年 月 日)

(内 容)

5月 5日

端午の節供特別企画 親と子の甲冑教室

8月 1日～31日

夏休み子供特別企画 (ギャラリー・クイズ、歴史教室ほか)

平成22年1月

蓬莱展特別企画 尾張万歳

2月27日

雛まつり展特別企画 十二単着付教室

3月

〃 香袋づくり

(10) 会員のための見学会

国内 春・秋の特別展をみる

海外 史跡・展覧会をみる

(11) 学芸員実習 7月末から8月上旬の7日間

(12) 出講の承認

① 名古屋造形芸術大	通年	山本泰一
② 東海学園大学	集中	〃
③ 愛知県立芸術大学	〃	佐藤豊三
④ 名古屋外国語大学	前期	小池富雄
⑤ 南山大学	後期	〃
⑥ 南山大学	前期	四辻秀紀
⑦ 愛知淑徳大学	後期	〃
⑧ 名古屋芸術大学	後期集中	吉川美穂
⑨ 椋山女学園大学	集中	〃
⑩ 愛知県立大学	後期	龍澤 彩
⑪ 金城学院大学	前期	〃
⑫ 名古屋芸術大学	通年	原 史彦
⑬ 〃	〃	志賀太郎
⑭ 中日文化センター	〃	学芸員

(13) 雑誌・報道広報資料作成 (ポスター・ちらし・ニュースレター)

(14) ホームページの随時更新およびリニューアル

(15) 土曜子ども教室の開催・小中生向け普及教育活動・館外出講講座(アウトリーチ)

(16) 中学・高校・大学 職場体験の受け入れ(インターンシップ)

(17) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

6月21日・28日 「畑儀文さんをむかえて」

(18) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー

7.28

[IV] 展 覧 会

(1) 常設展示 (第1室～第6室)

大名の生活と文化 約一ヶ月毎に展示替

(2) 企画展示 (第7室～第9室)

(会期)	(展覧会名称)	(担当)
4月11日～5月24日	春季特別展 書の名品をたずねて 中日新聞社共催	四辻
5月30日～7月12日	企画展示 日本の“美術”の愛し方 ―美への扉― 朝日新聞社共催	志賀
7月18日～8月30日	夏休み歴史教室 信長・秀吉・家康の合戦 朝日新聞社共催	原
9月5日～10月4日	企画展示 物語の森へ ―眼で楽しむ日本の古典― 日本経済新聞社共催	龍澤
10月10日～11月15日	秋季特別展 戦国ふあつしょん―武将の美学―吉川・並木・小池・佐藤 中日新聞社共催	
11月21日～1月31日	企画展示 蓬莱 延命長寿の願いをこめて 日本経済新聞社共催	四辻
平成22年2月6日～4月4日	特別展 尾張徳川家の雛まつり 中日新聞社共催	並木・龍澤

(3) 特別展示

- ① 国宝 源氏物語絵巻 特別公開 竹河一・東屋一 平成21年11月21日～29日
- ② 千利休 泪の茶杓 平成22年2月20日～3月3日

(4) 特別観覧

- ① 名香会 (1日間) 6月14日
- ② 徳川茶会 (8日間) 10月11日・12日・17日・18日・25日・31日、11月1日・3日

(5) 蓬左文庫展示

展示室一 約1ヶ月ごとに展示替

4月8日～5月24日	春季特別展 書の名品をたずねて	四辻
5月27日～7月20日	七夕 ―星にこめる願い―	小池
7月23日～10月4日	徳川義直と儒教	山本
10月7日～11月15日	秋季特別展 戦国ふあつしょん	吉川・並木・小池・佐藤
11月18日～12月13日	目利きと鑑定	志賀
平成22年1月5日～2月14日	江戸の好古趣味	吉川
2月17日～4月4日	尾張徳川家の宝物目録 ―蔵帳にしるされた品々―	佐藤

※「源氏物語の世界」春・秋の特別展以外の期間

[V]	編 集	
(1)	特別展図録作成(戦国ふあつしよん)	学芸部
(2)	金鯨叢書(第37輯)	同 上
(3)	尾陽(第7号)	同 上
(4)	徳川黎明会叢書	同 上
(5)	ビデオライブラリー作成	同 上
[VI]	徳川慶勝撮影写真資料の共同調査	学芸部
[VII]	図 書	
(1)	受入・整理・管理	学芸部
[VIII]	館蔵品コンピューター入力	
(1)	キャプション作成	学芸部
(2)	展示作品リスト(来館者用)作成	同 上
(3)	調書入力	同 上
(4)	写真データ入力	同 上
(5)	文化財管理システムの更新	同 上
[IX]	広報活動	
(1)	誘致活動	
	①マスメディアへの周知	
	②広告掲載(新聞・雑誌・看板など)	
	③インターネットの活用	
(2)	他の美術館・博物館との連携	
(3)	刊行物作成・配布	
	①徳川美術館だより「葵」の発行(年4回)	
	②各種印刷物の作成	
(4)	ボランティア業務の運営	
	①ボランティアの養成(第七期生4月より活動開始)	
	②展示解説の充実	
	③体験型解説の実施	
	④ボランティアの会見学会の実施	

2. 処務事項

[I] 来館者誘致活動

(1) 来館者の利用推進

①団体来館者の利用推進

- a) 来館者数の状況把握と周知徹底
- b) 旅行会社・イベント会社との連携強化
- c) ライオンズクラブ・ロータリークラブ・日本青年会議所・議員後援会・各種組合等との連携強化

②個人来館者の利用推進

- a) 来館者数の状況把握と周知徹底
- b) 提携先（ホテル・教育委員会・他施設等）の開拓
- c) 賛助会会員（法人）及び友の会会員の募集
- d) 来館者ニーズの把握と反映
- e) 百貨店友の会との連携強化
- f) 地域及び他施設でのイベントとの広報等のタイアップ推進
（大曾根・白壁地区・瀬戸市・名古屋城・ナゴヤドームなど）

(2) 大学メンバーシップの開拓と維持

(3) 休館日及び閉館後等における時間外の利用誘致

[II] 管 理

(1) 営繕

①館内整備

- a) ビデオコーナー改修工事
- b) 照明リモコンリレー更新
- c) ミュージアムショップの部分改装
- d) 餘芳軒勝手床修繕
- e) 雨水枡修繕・清掃

②庭園整備 周辺民家に隣接する樹木の管理

C 建物・設備「短期計画(3ヶ年)」の立案と遂行

(2) 備品管理の推進

(3) 建物維持管理の推進

- ①本館・収蔵庫屋根瓦修繕計画立案
- ②館内監視システム更新計画立案
- ③来館者用化粧室修繕計画立案
- ④救護室・授乳室設置計画立案

- [Ⅲ] 第18回 徳川美術館運営懇話会の開催

- [Ⅳ] 徳川園調整会議、業務・企画会議への参加
徳川園・蓬左文庫及び関係組織との協議

- [Ⅴ] 「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）の用途
平成21年度は下記のように用途することを計画している。
(1)〔文化財保存事業〕重要文化財 扇地紙文辻ケ花染小袖・紅葉文辻ケ花染小袖（継続）

徳川林政史研究所

1. 事業事項

[I] 調査・研究

(1) 研究

(課 題)	(担 当)	(開始)
① 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年
② 江戸の園地政策	副 所 長	深井雅海 // 18年
③ 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員	太田尚宏 // 18年
④ 近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根孝胤 // 20年
⑤ 中山間地域社会の近代的展開	特任研究員・筑波大学教授	加藤衛拡 // 20年
⑥ 秋田藩林政史	秋田工業高等専門学校教授	脇野 博 // 20年
⑦ 尾張藩享保林政改革と木曾山の生活	特任研究員	大崎 晃 // 21年
⑧ 幕末・明治期における尾張徳川家の 林政事業に関する研究	非常勤研究員	藤田英昭 // 21年

(2) 上記の課題研究に関する中間報告のため、研究会を開催する。

[II] 若手研究者の育成

(1) 非常勤研究員・研究生による研究会を開催

(2) // による史料整理・目録作成作業（石河家文書・松原家文書）

(3) その他、史料調査・普及活動などへの参加

[III] 編集・刊行

(1) 平成21年度「研究紀要」第44号（B5判 300ページ前後）を編集・刊行する。

白根孝胤・太田尚宏

[IV] 史料調査

(1) 林政史アーカイブズ調査

太田尚宏・白根孝胤

全国の林政史関係史料の所在調査をし、データベース化を行うとともに、必要に応じて複写史料の収集を行う。

① 岐阜県歴史資料館（岐阜県・岐阜市）

② 秋田県立公文書館（秋田県・秋田市）

③ 江川文庫（静岡県・伊豆の国市）

④ たつの市立龍野歴史文化資料館（兵庫県・たつの市）

⑤ 塩尻市教育委員会（旧奈良井営林署文書）（長野県・塩尻市）

(2) 民有林業関係史料調査

白根孝胤・太田尚宏

① 八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査（北海道・八雲町）

(3) 写真資料の共同調査・研究

白根孝胤・太田尚宏

徳川美術館と共同で、徳川慶勝撮影写真資料に関する基礎調査・研究を企画・実施する。

(4) 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集

- ① 金沢市立玉川図書館所蔵史料調査（石川県・金沢市）
- ② 彦根城博物館所蔵史料調査（滋賀県・彦根市）
- ③ 福島県歴史資料館所蔵史料調査（福島県・福島市）
- ④ 高山郷土館所蔵史料調査（岐阜県・高山市）
- ⑤ 名古屋市蓬左文庫所蔵資料調査（愛知県・名古屋市）

[V] 所蔵史料の整理

(1) 日常業務において実施する史料整理・点検

- ① 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏
- ② 尾張徳川家文書の新目録作成・点検作業を行う。 白根孝胤
- ③ 徳川林政史研究所収集絵図の整理・目録作成作業を行う。 太田尚宏・研究生
- ④ 蜂須賀家文書の整理・目録作成作業を行う。 //
- ⑤ 「竹熊手」の目録作成作業を行う。 竹内 誠・太田尚宏
- ⑥ 史料の補修や装備、書庫内の整理など、史料および保存環境の保全につとめる。 深井雅海・太田尚宏・白根孝胤
- ⑦ 所蔵古写真のデジタル化を進める。 白根孝胤
- ⑧ 劣化により利用に危険が伴う史料のデジタル化を進める。 太田尚宏

(2) 愛知県史との共同史料整理

太田尚宏

- ① 蟹江鈴木家文書の整理を継続する。

[VI] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第44号に「尾張徳川家文書目録（6）」を掲載する。 白根孝胤
- (2) 研究生による史料整理の成果として、「研究紀要」第44号に「石河家文書目録（5）」を掲載する。 白根孝胤・太田尚宏
- (3) 徳川林政史研究所収集史料に関する内容調査・補充整理を進め、「研究紀要」第44号に「徳川林政史研究所収集史料目録（1）」を掲載する。 太田尚宏

[VII] 教育・普及

所長・副所長・研究員

- (1) 前年度に引き続き、豊島区教育委員会との共催で、一般向けの古文書解説講座「徳川林政史研究所公開講座」を開催する。
- (2) 徳川美術館主催の「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加する。
- (3) 林政史・環境史をテーマにした一般向け公開講座を開催する。
- (4) 平成18年度に実施した第8回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を刊行する。
- (5) 平成19年度に実施した第9回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた書籍を編纂する。
- (6) 近世・近代の林政史についてわかりやすく解説した一般向け書籍の編集を行う。
- (7) 部外出講

- | | | | |
|----------|------------|-----|------|
| ① 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通 年 | 太田尚宏 |
| ② // 大学院 | 歴史文化研究 I b | // | // |

[VIII] 所蔵史料データベースの構築および保存

- (1) 目録刊行作業に合わせて徳川林政史研究所収集史料に関する目録データの修正・補充を行う。太田尚宏
- (2) 目録刊行作業に合わせて尾張徳川家文書に関する目録データの修正・補充を行う。白根孝胤
- (3) 石河家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (4) 徳川林政史研究所収集絵図の目録データ入力を実施する。太田尚宏
- (5) 蜂須賀家文書の目録データ入力を実施する。〃
- (6) 「竹熊手」の目録データ入力を実施する。〃
- (7) 目録刊行済みの史料群のうちでデータ化が進んでいないものについて、パソコン入力を進める。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (8) 所蔵史料に関する目録データの拡充につとめ、検索方法や活用のあり方を引き続き検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (9) ホームページ等を利用した目録データ公開体制のあり方について検討していく。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織

[IX] 所蔵図書の整理

鶴岡香織

(1) 図 書

- ①新着図書・旧受入分、及び寄贈図書の分類・整理・データ入力を行う。
- ②冊子・ソフトカバーの目録等について製本し、貴重本の散逸を防ぐ。
- ③寄贈依頼を発送し、蔵書の充実に努める。
- ④除籍対象図書を選定し、除籍を行う。

(2) 雑 誌

- ①新着雑誌・寄贈雑誌の整理・データ入力を行う。
- ②製本することによって雑誌の散逸を防ぎ、それと共に欠号の補完を行う。
- ③「研究紀要」の交換先を検討する。
- ④所蔵雑誌の収蔵範囲について検討する。
- ⑤除籍対象雑誌を選定し、除籍を行う。

(3) 抜 刷

- ①各種抜刷を分類・整理・データ入力を行う。

(4) 図書データベースのネットワーク化に向けて作業する。

[X] 閲覧・複写・出陳・レファレンス業務

- (1) 毎週火曜日・水曜日を閲覧許可日とし、所蔵史料を閲覧に供する。
- (2) 閲覧対象とする史料群は
 - ①旧蓬左文庫所蔵史料
 - ②尾張徳川家文書
 - ③八雲史料
 - ④林政史研究所収集史料
 - ⑤旧名古屋税務監督局所蔵史料（旧愛知県庁文書を含む）
 - ⑥写真資料
 - ⑦絵図類
 - ⑧日本林制史調査資料
 - ⑨その他とする。

- (3) 所蔵史料の複写サービスに際し、総務部と協力して史料出納や撮影補助などに従事し、業務の円滑化を図る。太田尚宏・白根孝胤・鶴岡香織
- (4) 他館からの史料出陳申請に対しては、可能な限り協力していく。太田尚宏
- (5) 電話や書簡によるレファレンスについて、適切な内容のものであれば可能な限りこれに協力する。太田尚宏・白根孝胤

2. 処務事項

[I] 補助金関係

- (1) 科学研究費補助金（特定奨励費）に係る申請事務及び経費管理事務 太田尚宏・鶴岡香織
- (2) 特定奨励費以外の科学研究費補助金に係る申請事務及び経費管理事務 鶴岡香織
- (3) 競争的研究資金への応募事務 白根孝胤・太田尚宏・鶴岡香織

[II] 他機関との連携・協力

- (1) 名古屋市蓬左文庫
- (2) 徳川記念財団・犬山城白帝文庫
- (3) 国文学研究資料館・国立公文書館等の資料保存機関及び学会・協会

2. 徳川美術館拡充整備事業（公益事業）

徳川美術館

[Ⅰ] 徳川美術館拡充整備基金の会 寄附金募集の推進
総務部と連携し目標額達成のため努力する。

[Ⅱ] 寄附金の使途

平成21年度は下記のように使途することを計画している。

(1) 「第3回 徳川美術館拡充整備基金」

〔文化財保存事業〕	薄紅地蓬萊葵紋付産衣	徳川綱誠着用	修理
	纏「直鋒」	松平忠吉所用	〃（継続）
	茶白鼠細格子産衣	徳川綱誠着用	〃
	扇散蒔絵鼓箱	（苅田蒔絵小鼓収納箱）	〃

〔施設整備事業〕 自動火災報知設備 更新

(2) 「第4回 徳川美術館拡充整備基金」

〔文化財保存事業〕	寿老人・花鳥図	伝呂紀筆	修理
	菅原道真像（束帯天神）		〃
	拾遺和歌集切	藤原定家筆	〃
	中殿御会図	伝二条為氏筆	〃
	菊折枝蒔絵乗物	俊恭院福君所用	〃

〔施設整備事業〕 美術館本館の床修繕（損耗箇所修理、ポリウレタン樹脂塗装等）

3. 収益事業

総務部

- [I] 住宅賃貸
外国人向け住宅6棟を賃貸する。

徳川美術館

- [I] 宝善亭の利用促進のための利用形態見直し

- [II] ミュージアムショップの運営
 - ①HP掲載やイベントの連携などによるミュージアムショップ及び商品のPR
 - ②名古屋城などにおける外部での販売推進

- [III] ミュージアムショップの部分改装

